



心こそ大切

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

(ユネスコ憲章前文より)

平和へ、心の絆、強く大きく



華やかに盛大に行われた新春フェスタ（1月31日）

第12回ユネスコ 新春フェスタ

国際理解、協力、交流などの活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞（主催・広島ユネスコ協会、後援・広島市教育委員会）の表彰式と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フェスタ 二〇一〇」は、十二回目を迎える

て、一月三十一日、広島市内のエンジェルパルテで開かれました。

第一部、第十二回奨励賞表彰式は、まず北川会長の挨拶で始まり、続いて選考委員長の日本ユネスコ国内委員会前委員で広島大学中山修一名誉

「あなたの善の行動が
周りを^{まわ}変え、連帯の力高める」

国際理解や協力、交流活動を
顕彰し、記念のコンサートも

教授が、受賞団体それぞれの活動評価を交えながら講評。そして北川会長から賞状と記念のブロンズ楯が次記の学校、団体に贈られました。

学校部門は三校。広島市立庚午小学校は、インターネットによるテレビ会議でのアメリカやニュージーランドの小学校との国際交流活動に。広島市立美鈴が丘高等学校「あすなる会」は、ボランティア部あすなる会を通じて海外への支援活動や交流活動の輪を広げたことに。広島市立大学ねっこ広島は、環境ボランティアサークル「ねっこ広島」を通じて学生の視点から環境問題に関するイベントの企画運営や地域貢献活動、啓発活動への取り組みに。



受賞団体代表全員が壇上に

社会部門は七団体。牛田日本語教室は、牛田公民館での外国人、帰国者のための日本



広島市立美鈴が丘高等学校「あすなろ会」



広島市立庚午小学校



牛田日本語教室



広島市立大学「ねっこ広島」



NPO法人 日本ケニア協会



NHK広島児童合唱団



広島県立広島観音高等学校 音楽部OB合唱団



ひろしま生きた自然博物館



NPO法人 モーストの会



NPO法人 ピースビルダーズ

語習得、学習支援活動に。NHK広島児童合唱団は、創立以来五十年、定期演奏会をはじめ各種事業での演奏会に出演、幅広い演奏活動を通じての国際親善への取り組みに。NPO法人日本ケニア協会は日本在住のケニアの人たちへのサポート、ホームステイなど各種団体と連携しながらの交流親善活動に。ひろしま生きた自然博物館は、元宇品地区を博物館と見立て、自然観察の出来る環境整備を行うなど、環境教育の先駆的な役割

を果たしていることに。広島県立広島観音高等学校OB合唱団は、卒業以来三十年を経て集まったOB団員が原爆の犠牲となった先輩たちや市民の慰霊のためのコンサート活動などを続けていることに。NPO法人ピースビルダーズは、JICA委託の研修コンテツツ開発や紛争予防、復興のための人材育成事業などの活動に。NPO法人モーストの会は、イランの毒ガス被害者との交流や現地調査、医療従事者の広島の病院での研修

支援などの活動に対して、それぞれ表彰されました。続いて各学校、団体から活動内容の発表が行われました。第二部は、新春コンサート。今年、「魅惑のタンゴ」と題して九十歳のバンドネオン



バンドネオン奏者の佐川 峰さん

奏者 佐川 峰さんの演奏会を企画しました。一九一九年（大正八年）生まれ、昨年末に九十歳の卒寿を迎え、今なお現役でバンドネオンの演奏活動を精力的に続けている佐川さん。愛用のバンドネオンを抱えてステージに登場すると、まずは懐かしい「小雨降る径」の演奏。小柄な身体でとても九十歳とは思えないエネルギーッシュで軽快な動き。バンドネオンを初めて見る人、聴く人もいて会場は感嘆と興奮に包まれました。

表彰式、コンサートに続くパーティーでは、食事の合間に受賞団体が入れ替わりステージに立って、メンバーの紹介や活動余話などを披露しました。こうしてユネスコ会員と受賞団体の関係者や参加者との和やかな交歓、交流は時間の経つのを忘れるほどの盛り上がりを見せ、今年も年の初めにふさわしい「ユネスコ新春フェスタ」となりました。（文化部会 井尾義信）



パーティーで、なごやかに懇談

途中、津川の子さんのピアノ演奏はさんで、「夜のタンゴ」「黒い瞳」「ラ・クンパルシータ」など九曲をソロ演奏。佐川さんの楽しいおしゃべりを交えてのひとときを過ごし、「魂のバンドネオン奏者」佐川 峰さんの世界を堪能してコンサートは終わりました。

UNESCOの十年

3回シリーズ(上)

答える人
元日本ユネスコ国内委員
広島大学名誉教授 中山修一氏

平和な世界は人づくりから。日本が提案国となって国連に提出し採択された「ESD(持続可能な開発のための教育 実施期間は二〇〇五年から二〇一四年まで)の十年」について、提案当時、日本のユネスコ国内委員として作業に



携わった、中山修一広島大学名誉教授に、推進の経緯や課題について聞いてみました。

を「国連ESDの十年」運動とすることを提案し、国連総会で採択されたものです。それを受けて国連は、内容が教育活動を重視する社会をよくする運動であるため、ユネスコを主導機関に指名し、国際実施計画の策定を要請しました。ユネスコは、二〇〇三年に入り、国連の関係機関

やユネスコ加盟国のユネスコ国内委員会に、同実施計画に盛り込むべき重要な事項の提案を呼び掛けました。提案国の日本ユネスコ国内委員会も七項目の課題を提案し、同実施計画に盛り込まれました。ユネスコは、二〇〇四年度

に国連を中心とする関係機関や専門家による多面的な検討を経て、二〇〇五年に国際実施計画を完成し、国別実施計画の策定を加盟国に求めました。政府は、それを受けて、二〇〇六年三月に「わが国における国連ESDの十年実施

計画」を策定し、本格的な普及・推進に当たっています。日本が提案した国連ESDの十年運動は、戦後、日本が世界に呼び掛けて認められた教育を通じた初の社会改革運動として、大きな意味を持っています。

私たちは、ユネスコ国際実施計画を踏まえて作られた政府の国連ESDの十年実施計画に学びながら、日本社会を持続可能な社会に転換させ、その発展を支える人材の育成に、ますます力を注がねばなりません。同時に、先進国の一員として、発展途上国の持続可能な社会づくりのための人材育成に、市民の一人ひとり

が、それぞれのできる範囲で協力していく責任が求められています。

私たちには、ユネスコ国際実施計画を踏まえて作られた政府の国連ESDの十年実施計画に学びながら、日本社会を持続可能な社会に転換させ、その発展を支える人材の育成に、ますます力を注がねばなりません。同時に、先進国の一員として、発展途上国の持続可能な社会づくりのための人材育成に、市民の一人ひとりが、それぞれのできる範囲で協力していく責任が求められています。

私たちには、ユネスコ国際実施計画を踏まえて作られた政府の国連ESDの十年実施計画に学びながら、日本社会を持続可能な社会に転換させ、その発展を支える人材の育成に、ますます力を注がねばなりません。同時に、先進国の一員として、発展途上国の持続可能な社会づくりのための人材育成に、市民の一人ひとりが、それぞれのできる範囲で協力していく責任が求められています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。

英訳は「Education for Sustainable Development」です。訳語は、「持続可能な開発のための教育」が多く使われますが、国の教育振興基本計画では、「持続発展教育」と訳しています。



盛況博した高校生のための 国際理解セミナー

タンザニアの生活学ぶ

昨年十二月二十三日(水)に、広島市青少年センターと共催で、「高校生のための国際理解セミナー」を開催しました。講師にJICA青年海外協力隊で二年間タンザニアで教育支援活動をされた中和悠さんを招き、タンザニアの現在の都市風景や生活様式をスライドで見ながら分かりやすくお話いただきました。



講師の中和 悠さん

水10リットル入りバケツを頭上で運ぶ実演もありました。ボランティア活動では学んだことの方が多く、「発展途上国に支援される側はかわいそう」という思い込みではなく、同じ目線で支援することの必要性を言われました。質問コーナーでは高校生からたくさん質問が寄せられていました。冬休みの初日で三



スライドで学習

すべての人に教育を 街頭で支援の募金活動

セミナー終了後は世界寺子屋運動「すべての人に教育を」を合言葉に、高校生十五人が八丁堀天満屋前で街頭募金を行いました。高校生の多くはユネスコ部員でしたが、



多くの人が鑑賞したパネル展

者面談などの行事もあったなか多くの高校生が熱心に参加し、盛況にて終了しました。○参加した高校生のコメント(終了後のアンケートより)「ユネスコ部員なので少しでも知識を増やせたらと思いついて参加しました。今回の講座はとても役に立ちました。今まで偏見があったのかなと少し反省しました。青年海外協力隊にも興味が湧いてとても楽しかったです。他の高校の人の話が聞けたのもよかったです。次回もまた参加したいです」。



募金を呼びかける高校生

寺子屋運動パネル展

国際理解セミナーと寺子屋運動が開催されるのに併せて



募金活動終了後、全員でパチリ

午前のセミナーで寺子屋運動に興味をもったユネスコ部員でない高校生も参加してくれました。寒いながら天気もよく、元気に掛け声をかけながら活動を行いました。その結

果、五七、六七六円の募金が集まりました。皆様の多大なご支援をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

て、青少年センターの半地下ギャラリーで「ユネスコ世界寺子屋運動パネル展」を開催し、学びの場や自立支援の必要性を訴えました。センターを訪れた多くの方々をご覧になっていました。この展示を見た他の国際協力ボランティア活動グループから、このパネル展終了後の展示申込みがあったりするなど反響は大きく、市民のボランティア活動意識の高揚につながりました。(市青少年センター)



(2009年9月21日～24日)

宮島ユネスコ 協会常任理事 岡崎 環氏

— ビースネット —

- 一 世界遺産アンコールワット遺跡群の修復現場
- 二 寺子屋プロジェクトの現地
- 三 地雷除去活動の実際



アンコールワットの日の出

アンコールワットの夜明け

訪ねたのはちょうど彼岸の中日の前日あたり、日本・中国・台湾・韓国など東アジアからの観光客（参拝かも）の多さに驚きました。とくに、夜明けに塔の先端から昇る朝日が見どころとのこと、暗い内から道は車のヘッドライトの列。四時起き、眠気の覚めやらぬ中、彼岸と朝日を考えて建造されている仏教遺跡であることに妙に納得し、

昼間の寺院

手を合わせてしまいました。中をゆっくり見学したのは、一般の観光客の多さを避け、午後からになりました。暑い最中遺跡の前は、日除けの帽子や絵葉書など土産物を買った人たちが一杯。周辺の水を湛えた堀では泳いでいる人たちもいます。世界遺産の表示板を見ながら堀を越えていよいよ境内に。門の周囲には銃弾の跡があり、ポルポト時

世界遺産修復の現場へ

寺子屋、地雷除去などを見学



アンコールワットの門



経蔵 (案内板に日本の遺跡救済事業による旨が書かれています)

石の廻廊の内側は広い庭になり、その中央に塔に続く石の道。その中ほどの左右に経蔵。この経蔵の一つは日本の援助により修復され、正面にその旨を記した案内板があります。そしてもう一方は現在修復中。ちょうどこの日は、クメール正月の休暇中にあたり、作業を見ることはできませんでした。

塔のある建物の北側は、林になり、木陰には門前と同じように土産物屋さん。すぐ側の木の枝には暑さしのぎの猿の樹上の昼寝。比叡山など我

代には基地となり銃撃戦があったとのこと。そして、門の石段や通路は人に踏まれて摩耗しています。創建以来の寺院を取りまく人たちの姿を物語る道です。

が国の山岳寺院では猿が仏の使いと信じられています。暑い地域で生まれ、数百年を経て伝わってきた仏教と野生動物との関わりを見る思いでした。

廻廊の中には、落書きといわれるものがあります。その中の一つに一六、七世紀頃ここに訪れたと思える日本人の記したものがありません。そしてすぐ側には中国人のもの。憧れの聖地にやっとたどり着いた人の感激がなせる仕業でしょう。

落書きも遺産に？

落書きは、遺産を傷つけるものですが、数百年を経ると歴史的遺産になります。人類の過去の記憶を、ものを通して後世の人たちに伝えるための世界遺産。自然のままの平地に石を積み重ねて上がった寺院。川面の平地に食料となる作物を栽培するために開拓した耕作地。何れも自然を犠牲にして生きてきた人類の営みを示すものです。落書きを正視し非難できることは、二一世紀の人類の進歩の指標ではないでしょうか。



SPレコードについて話す菊波さん

なつかし
の
歌
声

SPレコードが
よみがえる

ユネスコ
出前講座

身近な地域で開催するユネスコサロン出前講座は平成十八年度から始まりました。四回目の会場となった三月十三日の三篠公民館には、会員や地域の方々が多数参加。講師は蓄音機音楽愛好家 菊波勇さんで昔懐かしい蓄音機に

広島ユネスコ協会の ひと顔

歯学博士 因島ユネスコ
協会名誉顧問

須山 禮 吉 氏



重要です。

その中で、共に生きる教育やESD、ユネスコスクールなどの取り組みと、学校教育に於ける倫理道徳教育の充実、人格形成を期待する。併せて「ユネスコ精神を国民の中に溶

株式会社
取締役会長

中尾 正 俊 氏



か不安です。

平和に対する気持ち。私が一歳のとき、一番良く面倒を見てくれた姉が学徒動員（女学院高二年生）で被爆死したことを母から幾たびも聞かされ、その嘆き悲しむ姿は今も忘れられない。「こんなむごい事は孫子の世代に二度とあってはならない」。

今日まで各地で行われる日本ユネスコ連盟全国大会、中国プロック研究会、広島ユネスコサロンに欠かさず出席するなど、活動に熱心な人と信頼が厚い。「ユ協会構成員の年齢の高齢化もあり、若者の入会が必要かつ

平成二十年八月、井尾様から「ユネスコの社会活動をして見ませんか」と誘いを受けたのが入会のきっかけ。「そろそろ」と思っていた矢先だったので、思い切つて参加。大変意義深い活動ばかりで、「ついて行けるかどうか。65歳。

お知らせ

書き損じはがきを
集めています

（社）日本ユネスコ連盟では地球のたからものを守る「世界遺産活動」をはじめ、すべての人に教育のチャンスを広げる「世界寺子屋運動」や「一杯のスプーン」「未来遺産」などさまざまなユネスコ活動

を行っています。

広島ユネスコ協会は、世界寺子屋運動支援の一つの活動として、書き損じはがきを集め、日本ユネスコ協会連盟に送っています。この書き損じはがき（五十円のはがき）は、一枚で四十五円の募金となります。家庭で眠っている書き損じはがきがございましたら、ぜひ広島ユネスコ協会事務局まで送ってください。

日誌

- 10日/機関紙第73号発行
- 12日/第百四十回ユネスコサロン「イランと私」モーストの会理事長 津谷 静子
- 12日/理事会(平和記念資料館)
- 23日/高校生国際理解セミナー「みんなが笑顔で暮らせるために」広島大学大学院国際協力研究科 中和 悠
- (青少年センター)
- 23日/世界寺子屋運動街頭募金 高校生・会員(天満屋前)
- 26日/ユネスコ活動奨励賞受賞校・団体紹介文、表彰文検討会 (市民交流プラザ)
- 31日/第十二回ユネスコ新春
- 4日/市民交流フェスタ実行委員会 (市民交流プラザ)
- 8日/機関紙編集会議
- 24日/ひろしま国際交流サミット
- (インテリジェントホテル)
- 13日/第百四十一回ユネスコサロン「なつかしの昭和歌謡史」蓄音機音楽愛好家 菊波 勇
- 13日/理事会 (三篠公民館)
- 25~28日/杉並ユネスコ青年部広島学習(記念資料館ほか)
- 31日/機関紙第74号発行